

Writing English for You in Japan

書くための英文法
形から学ぶ英語のルール

Masayuki Omote



Nan'un-do

Writing English for You in Japan

Copyright © 2019

Masayuki Omote

All rights Reserved.

*No part of this book may be reproduced in any form without written permission
from the author and Nan'un-do Co., Ltd.*

英語を勉強するのに文法は必要か不要か。おそらく、これは、日本で英語教育が始まって以来、繰り返されてきた議論でしょう。筆者は英文法が必要と考えます。英文法は英語の「トリセツ」だと思うからです。しかし、英語学習者がいたずらに分厚い英文法の参考書をひも解くことには反対です。入門、初級、中級、上級と学習段階に応じて、英文法の学習の範囲を広げていくのが現実的だと思うからです。また、スピーキングやライティングといった発信型の英語が勉強したいか、リスニングやリーディングといった受信型の英語が勉強したいかに応じて、英文法の学習の範囲を決めていくのが理想的だと思うからです。

この教科書で学習する皆さんには、受信型の英語の勉強に必要な関係代名詞や関係副詞や仮定法のような難しい文法項目は必要ありません。発信型の英語は、もっとシンプルな文法項目を学習してしっかり身に着ければ、それで必要十分です。しかし、英語を苦手とする多くの学生の皆さんに、発信型の英語を活かせるだけのシンプルで必要最低限の文法が身についていないのも現実です。

英語のネイティブスピーカーに自分の好みを伝えたいとき、“I love apple.” と言えば、ネイティブスピーカーの耳には、“I love Apple.” と響き、「アップル（人名）が大好き」と解釈されてしまいます。また、話のきっかけにと、“Do you like dog?” とネイティブスピーカーに尋ねれば、その人は、「犬の肉はお好きですか」と質問されたと思います。筆者は決して犬食文化を否定しませんが、自分の意図とは違った発言をしてしまうことは困りものだと思います。ちなみに、この文脈であれば、“I love apples.” “Do you like dogs?” と apple や dog を複数形にすべきでした。

では、シンプルな発信型の英語を活かせるだけの文法とは何でしょう？ 筆者は、冠詞（a や the）を中心とした名詞・代名詞の使い方と、現在・過去・未来といった表現したい時間に合わせて、平叙文や疑問文や否定文をしっかりと作れる作文能力だと思います。筆者が海外インターンシップで学生を引率した経験から言っても、これでインバウンドの旅行者の案内やホテルなどのビジネスの場での会話には十分だと考えます。

本書を通しての学習で、英語を苦手とする多くの学生の皆さんに名詞・代名詞や動詞の使い方と疑問文や否定文を作る力がしっかり身に着くことを願ってやみません。頑張ってください。

筆 者

はしがき	03
Pre-Unit	
品詞と文の主要素	06
Unit 1	
名詞の使い方	08
Unit 2	
前置詞と人称代名詞	12
Unit 3	
動詞の使い方	16
Unit 4	
目的語 補語 O と C	20
Unit 5	
文の主要素と文型	24
Unit 6	
現在形(三単現の-s)と過去形	28
Unit 7	
未来を表す表現と現在完了：2語以上でVの場合①	32
Unit 8	
…している：2語以上でVの場合②	36

Unit 9	
受動態：2語以上でVの場合③	40
Unit 10	
…される	44
Unit 11	
助動詞：2語以上でVの場合④	48
Unit 12	
英語の否定文はこう作る	52
Unit 13	
英語の疑問文はこう作る	56
Unit 14	
疑問詞を使った疑問文はこう作る	60
Unit 15	
間接疑問文はこう作る	64
巻末資料1	
動詞活用表	68
巻末資料2	
Backshift	70

英語で発信する際に次の項目の知識を体系的に理解することはとても大切です。しっかりと覚えましょう。

品詞

名詞	flower など、人や物事を言い表すために、それらにつけた名前のことで、 ^{主語} S や ^{目的語} O や ^{補語} C などになる言葉。 ⇒ 詳しくは Unit 1 を参照。
動詞	「～する」や「走る」などの動作や、「～だ・～である」などの状態を表す言葉。「～だ・～である」を除いて、日本語での動詞は、英語でも動詞になる。自動詞と他動詞とに分かれ、 ^{目的語} O と一緒に使わない動詞が自動詞、 ^{目的語} O と一緒に使う動詞が他動詞。 ⇒ 詳しくは Unit 5 を参照。
形容詞	大雑把に言えば、「～しい」「～な」と訳す語。例えば、beautiful（美しい）や kind（親切的な）。名詞を修飾したり、 ^{補語} C になったりする。 ⇒ 詳しくは Unit 4 を参照。
副詞	大雑把に言えば、「～しく」「～に」と訳す語。例えば、beautifully（美しく）や kindly（親切的に）。動詞や文や形容詞・副詞を修飾。 ⇒ 詳しくは Unit 4 を参照。
前置詞	《前置詞＋(代)名詞》という組み合わせで使う on, at, in, of, to, for, from, before, after, till, like などのこと。 ⇒ 詳しくは Unit 2 を参照。
接続詞	and, or, but, when, if などのつなぎ言葉のこと。
代名詞	基本は前出の名詞を受ける語。 ⇒ 詳しくは Unit 2 を参照。
間投詞	日本語の感動詞。well（まあ）、hello（もしもし）など。

文の主要素

S = 主語	(代)名詞になる
V = 動詞	
O = 目的語	(代)名詞になる
C = 補語	(代)名詞・形容詞になる

上の S, V, O, C 以外は、すべて M（修飾語）で、副詞・形容詞などになる。
⇒ 詳しくは Unit 5 を参照。

覚えておきたい言葉遣い

語	単語のこと。
句	二語以上の意味の塊のこと。
節	「SV」という構造のこと。

その他の用語

関係代名詞	who, whose, whom, which, what と that などのこと。
関係副詞	when, where, why, how などのこと。
疑問詞	5W1H を尋ねる語。 ⇒ 詳しくは Unit 14 を参照。
助動詞	動詞の原形と一緒に使う。 ⇒ 詳しくは Unit 11 を参照。
冠詞	a(n) や the のこと。 ⇒ 詳しくは Unit 1 を参照。
to 不定詞	to＋動詞の原形。名詞用法・形容詞用法・副詞用法がある。
原形不定詞	動詞の原形。
動名詞	動詞の ing 形を名詞的に使う場合。 ⇒ 詳しくは Unit 8 を参照。
現在分詞	動詞の ing 形を形容詞的に使う場合。 ⇒ 詳しくは Unit 8 を参照。
過去分詞	規則活用動詞には -ed をつけ、不規則活用動詞は個々に活用形を覚える。 ⇒ 巻末の活用表を参照。 形容詞的に使う。 ⇒ 詳しくは Unit 6 を参照。

★★★★ 名詞の使い方 ★★★★★

日本語を英語に直すときはまず、^{主語}Sと^{動詞}Vが整った文章を作るところがけましょう。名詞と代名詞は、^{主語}Sになるものの代表です。このユニットでは、名詞の使い方を理解しましょう。そのためにはまず、冠詞（a や the）などと数えられる名詞と数えられない名詞の表す意味の関係を覚えましょう。

★★★★ a(n) や the ★★★★★

① 数えられる名詞と a(n) や the ※ N は名詞の単数形を、Ns は複数形を表します。

形 態	意 味		例	日 本 語 訳 例
a(n) N	N（というもの）	総称	a mirror	鏡（というもの）
	（とある一つの）N	不特定		（ある一枚の）鏡
Ns	N（というもの）	総称	mirrors	鏡（というもの）
the N	N（というもの）	総称	the mirror	鏡（というもの）
	その N	特定化		その鏡
the Ns	その N（すべて）	特定化	the mirrors	それらの鏡

- ★（というもの）は日本語にするとき、必ずしも必要というわけではありませんが、そう訳せる名詞は、それがそのグループの代表を表します【総称】。
- ★例えば、話の中で“mirrors”と言うと鏡のことだとは分かりますが、どの鏡のことか分かりません。一方、“the mirrors”など「その」をつけたときは、どの鏡のことを言っているのか分かります【特定化】。
- ★people, family, police, team, staffなどのグループの名前も数えられる名詞ですが、使い方が少し特殊なので注意が必要です。

② 数えられない名詞と the

形 態	意 味		例	日 本 語 訳 例
N	N（というもの）	総称	ice	氷（というもの）
the N	その N	特定化	the ice	その氷

- ★抽象的な概念を表す名詞：liberty, sweetness, information など、-ty, -ness, -tion, -sion で終わる名詞が多いです。
- ★地名や人名：London や Paul など、常に大文字で書き始めます。
- ★その他：soap, meat, money, sugar, salt, paper などの物質名や mail, furniture, fish, hair などの特殊な使い方をする名詞は特に注意して覚えましょう。

● Check! (確認問題 1)

冠詞に注意しながら、次の 1～6 の日本語を英語に直しなさい。

- | | | | |
|----------|-------|-----------|-------|
| 1. その石鹸 | _____ | 2. 豚というもの | _____ |
| 3. とある公園 | _____ | 4. 髪 | _____ |
| 5. アメリカ人 | _____ | 6. それらの本 | _____ |

★★★★ some や any ★★★★★

次表のように、some や any も数えられる名詞や数えられない名詞と一緒に使います。

① 数えられる名詞と some や any

形 態	意 味	例
some Ns	(いくつかの) N	<i>Some kids</i> came to my office.
	…する N もある [いる]	<i>Some kids</i> are shy.
some N	ある N	<i>Some kid</i> was drowning.
some 数詞	およそ N	There are <i>some fifteen</i> kids.
any N	※(いくつでもいいから) N	Do you have <i>any questions</i> ?
	どんな N でも	He takes <i>any bath</i> .
any N(s)	どんな N も (～ない)	I didn't take <i>any bath</i> for three days.

※「いくつでもいいから」は日本語に訳出しません。

② 数えられない名詞と some や any

形 態	意 味	例
some N	(いくらかの)N	I poured <i>some sauce</i> over it.
any N	※(いくつでもいいから) N	Do you have <i>any money</i> ?
	どんな N も (～ない)	They do not eat <i>any beef</i> .
	どんな N でも	He eats <i>any meat</i> .

※「いくつでもいいから」は日本語に訳出しません。

★★★★ many や much と (a) few や (a) little ★★★★★

次表のように、many や (a) few は数えられる名詞と、much や (a) little は数えられない名詞と一緒に使います。

① 数えられる名詞と many や (a) few

形 態	意 味	例
many Ns	たくさんの N	Do you read <i>many books</i> ?
a few Ns	2, 3 の N	<i>A few kids</i> were drowning.
few Ns	ほとんどない N	He has <i>few friends</i> .

② 数えられない名詞と much や (a) little

形 態	意 味	例
much N	たくさんの N	I do not pour <i>much sauce</i> over it.
a little N	少しの N	He speaks <i>a little English</i> .
little N	ほとんどない N	She has <i>little money</i> now.

● Check! (確認問題 2)

次の 1～6 の日本語を英語に直しなさい。

- | | | | |
|-----------|-------|--------------|-------|
| 1. 数台の車 | _____ | 2. 幾らかの金 | _____ |
| 3. 少しの塩 | _____ | 4. どんな野菜でも | _____ |
| 5. たくさんの水 | _____ | 6. 2, 3 人の女性 | _____ |

● Exercises (練習問題)

I.

次の 1～5 の単数形と複数形が正しく対応していない組を下記のイ～エのなかから 1 つ選びなさい。

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1. イ . move — moves | □ . family — families |
| ハ . tomato — tomatos | ニ . datum — data |
| 2. イ . piano — pianos | □ . key — keies |
| ハ . lettuce — lettuces | ニ . photo — photos |
| 3. イ . human — humen | □ . baby — babies |
| ハ . leaf — leaves | ニ . wood — woods |
| 4. イ . tooth — teeth | □ . fox — foxes |
| ハ . cake — cakes | ニ . chief — chieves |
| 5. イ . sky — skies | □ . coin — coins |
| ハ . foot — foots | ニ . potato — potatoes |

II.

例にならって、()内の語を使って、次の1～5の日本語を英語に直しなさい。

例 その女子学生は自分の先生にメールを送った。(email / female / send / student / teacher)

The female student sent her teacher an email.

1. その家には、ガレージがついている。(garage / have / house)

2. 彼らは月に一度ドライブに行きます。(go / drive / once)

3. 彼女はファッションモデルをしています。(fashion / model)

4. 私は食事の時はいつもサラダを食べます。(eat / every / meal / salad)

5. テーブルの上にレモンが数個あります。(lemon / table / there)

III.

与えられた英語を使って、次の A と B の写真を説明する英語の 1 文を作りなさい。2 語の語形は自由に変えても構いませんが、英文は文法的に正しくないといけません。

- A. (pour / sugar)



- B. (guitar / play)



IV.

名詞とその形に気をつけながら、次の1～3の質問に英語で答えなさい。

1. Is there any sport you are good at? If yes, what is it?

2. Do you know what the national sport of your country is? What is it?

3. Do you do any sports or exercise to keep fit every day?
